

～ 親が子どもを叩くことは法律で禁止されています ～

2020年4月から
法律が変わりました。

「子どものしつけのためだから仕方ない。」とっていませんか？

子どもの健やかな成長と発達において体罰は必要ありません。

脳が最も育つ幼少期に体罰や虐待を受けると、脳の発達に深刻な影響を及ぼすことが明らかになっています。

心には深い傷を残し、人間関係に悪影響を及ぼす可能性があります。

体罰によって言うことを聞くようになったとしても、なぜ怒られたのかを考えたからではなく、叩かれたという恐怖心からの行動にすぎません。

親に不信感を持ち、恐怖心を抱くと一番安心できるはずの家庭が居場所でなくなります。

さらに、自分も「言う事を聞かない人には体罰をしてもいい」と学ぶことにもなります。

体罰以外にも怒鳴りつけたり、暴言を吐いたり、けなしたり、辱めたり、笑いものにすることも、子どもの権利を侵害しています。

子どもは自分の気持ちや考えを受止めてもらえることで大切にされていると感じることができます。

褒められることで自己肯定感を育むことができます。

体罰をしてしまう背景には保護者の心配事や負担感、孤独感、仕事や介護、家族関係などでストレスが溜まっていることがあります。

そのような時は子どもを連れて出かけられる地域の子育て支援の場所に出かけたり、こども家庭庁の「親子のための相談LINE」などを活用するのも一つの方法です。

子育ての不安や気になることなどを話すことで気分転換になり、気軽に相談できる関係ができるかもしれません。

体罰によらない子育てを実現するためには一人ひとりの意識を変えていく必要があります。

保護者が孤立せず子育てができるよう、地域・社会全体で見守り・応援しながら体罰のない社会を作っていきましょう。

こうざほうこく
講座報告

こうれいしゃこうりゅうじぎょう
高齢者交流事業

ほね いしき
骨を意識したゆる～い
のに効果のあるヨガや
かんごし けんこう
看護師さんによる健康
たいそう さいたいそう
体操、100歳体操や
のう
脳トレーニングをしま
した。



こうざほうこく
講座報告

ちいきこうりゅうじぎょう
地域交流事業

ライフズのおふたりのこころひび
『LIVES』のお二人の心に響
くうたごえ いや いっしょ
歌声に癒されたり、一緒に
うた
歌ったりしました。
スプーンをつか
スプーンを使って
セルフケアをしたり、
パンフルートのすてき
パンフルートの素敵な
ねいろ き
音色を聴きました。



こうざほうこく
講座報告

こそだ こうりゅうじぎょう
子育て交流事業

ほごしゃ ため
保護者の為の「リフ
レッシュヨガ」や
しょうに
「小児はり」のセル
フケア講座をしまし
た。
なつやす こ
夏休みには子どもの
かんたん
簡単クッキングをし
ました。
ほいくしょ ごとどうこうえんかい
保育所と合同講演会
も開催しました。



こうざほうこく
講座報告

じんけんけいはつこうざ
人権啓発講座

ミュージックケアでは、子
どもをありのまま受けと
めおやこ たの
め親子で楽しみました。
しせつりようしゃがくしゅうかい
施設利用者学習会では
『LIVES』さんのお話し
うた とお さまざま じんけん
と歌を通して様々な人権
かだい まな
課題について学びました。
りかい はったつしょう
理解しよう発達障がい
のこえんかい からだ こころ
講演会では、身体と心に
ついてのお話や、発達障
がいは？をテーマに詳
しくお話しいただきました。



【問合せ】

かむらこうりゅうかん かむら
神村交流館 神村コミュニティセンター (福山市神村町4790-1)

☎ (084) 934-3445



ふくやまし かむらちょう
kamura-community@city.fukuyama.hiroshima.jp